

2022年9月13日(火)

老球の細道688号

名コーチとの出会い「世界のコーチ、トスティン・ロイブル」④

会津バスケットボール協会 室井 富仁

現在世界中でU-18のワールドカップ予選が行われている。日本代表は男女共優勝できなかったが見事本戦への出場権を獲得することができた。そのような情報を聞く中で、運よくヨーロッパ予選のゲームをユーチューブで見ることができた。その中にチェコ対ドイツの男子代表のゲームがあった。チェコが逆転勝利を取めたが、チェコのベンチで采配を振っていたのはトスティン・ロイブル氏であった。日本にいた頃より少し太ったような気がするが、あいかわらずエネルギーにベンチワークを行っていた。

せっかくトスティン氏の雄姿を拝見したのですぐにでも本題のテーマに進みたいのだが、何事も急がば廻れ。もう少しアメリカでの話をさせてほしい。

先日A高校の練習に顔を出したら、ある選手が「UCLK」のプリントが印字されたTシャツを着ていた。家族がアメリカに行ってきた時のお土産だという。かつてアメリカのカレッジバスケットボールと言えばコーチの神様ジョン・ウッデンが率いた「UCLA(カリフォルニア大学ロサンゼルス分校)」の天下だった。私が最初にあこがれたコーチでありチームだった。だからどうしてもUCLAに行き練習、ゲームを観なければとずっと思っていた。

今回書いている2回目のアメリカコーチツアーにおいて、幸運にもUCLAの体育館でフル練習を見学することができた。1回目と会津高校のアメリカ遠征でUCLAに行った時は練習見学ができなかったのが今回は非常に貴重な経験だった。大いに感動すると同時に日頃の練習指導に対する考えに強烈な影響を与えられた。当時の学級通信から抜粋する。

【UCLA 大学練習見学】

12月27日(金)午後3時大学に到着。バスケットボールにおいては世界的に超有名大学。32,000人(当時)の学生でキャンパスの広さは東京の日比谷公園の17倍だという。専用体育館の大きさはわが会津体育館の2~3倍位あるだろうか。スケールの大きさに開いた口がさらに開いてしまった。

練習が始まる前に時間があつたのでお土産のTシャツとジョン・ウッデンの本を買うために大学内のストア「アッカーマン・ユニオン」へ行った。ここはロサンゼルス観光スポットに入っている。ちょうど静岡県某女子高陸上部の生徒たちと一緒にあった。なんとUCLAで陸上部の合宿を行っているということだった。この時私は硬く決意した。私もいつの日か選手を連れてアメリカで遠征合宿をすると(1998年会津高校で実現)。

練習開始の時間になったのでバスケット専用体育館「ポーレーパビリオン」に入った。私たちはチームのアシスタントコーチの許可を得てコートサイドで見学することができた。まずは練習前のミーティングが念入りになされていた。本日の練習目標、内容など諸々のことがコーチングスタッフから話されていた。自由な雰囲気アメリカ大学だと思っていたがどっこい「イエッサー(Yes sir)！」の世界である。選手の真剣な表情が伝わった。(続)